

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	青森県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	八戸市立城北小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	3	3	3	3	3	1	20	32
児童数	109	99	113	95	102	89	8	615	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人の子どもに「確かな学力」をはぐくむ指導法 ~基礎・基本の定着をめざして~
---

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

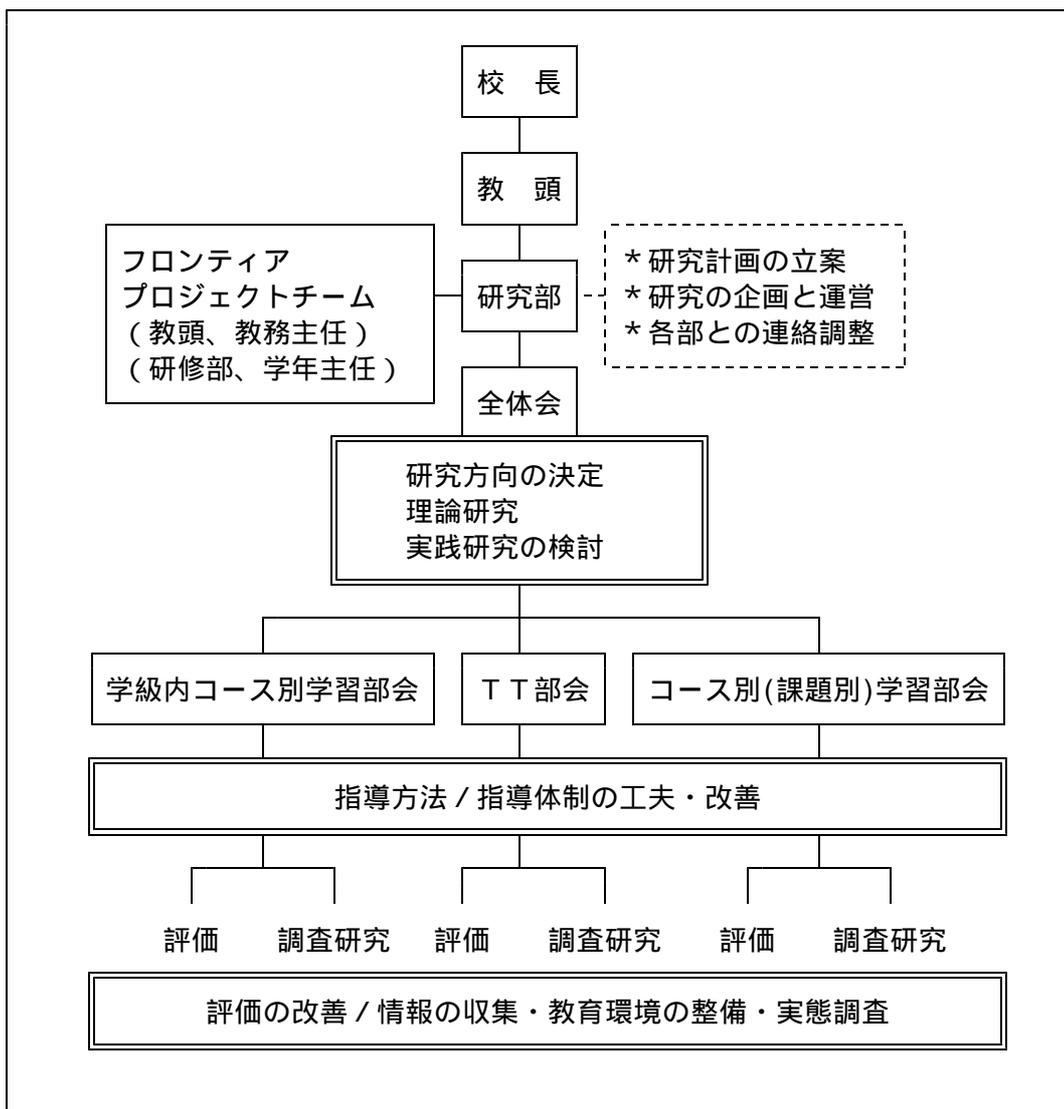
1～6年生 / 算数・国語 ・児童の実態や授業実践から、本校の児童は、内容を正確に読み取り、それを自分の言葉で表現したり、問題の内容を的確に捉えたりすることに特に指導が必要であるため。 ・特に、3～6年の算数は、児童の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。 習熟の時間の実施 ア 実施学年 1～6年 イ 実施教科 国語・算数 ウ 内 容 年間で生じる余裕時数を国語と算数の習熟の時間とし、時間割の中にあるいは単元の中に設定し、指導方法を工夫しながら確かな学力の定着を図る。  TTの実施 ア 実施学年 3～4年 イ 実施教科 算数 ウ 内 容 ティームティーチャーを活用し、学級を分けての少人数指導(コース別学習)や、集団を分けずに1学級2名の教師での指導法などを工夫し学力の定着を図る。  教科担任制の実施 ア 実施学年 3～6年 イ 実施教科 音楽・図工・体育・家庭(5・6年)・理科(4～6年) ウ 内 容 ・教科の特性をより生かした学習過程を工夫することで教科指導を充実させる。 ・各教師が学年全体の児童理解に努め、一つの学級、一人の児童を複数の教師が指導する体制を整える。
--

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>研究のねらい 授業、特設の国語と算数の習熟の時間、課外の個別指導の時間などで、児童の意欲を喚起しつつ、評価を明確にして、基礎・基本を定着させるための指導体制、指導法のあり方を実践的に究明する。</p> <p>研究の見通し（仮説） 「評価の2期制」の実施を基に、理解や習熟の程度に応じた指導体制の工夫、目標を明確にした授業改善を行い、指導と評価の一体化を図ることで、確かな学力を育成することができ、学ぶ喜びを実感させることができると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 指導体制の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業及び特設の習熟の時間において少人数指導、TTなどを工夫する。</li></ul></li><li>(2) 指導と評価の一体化<ul style="list-style-type: none"><li>・ 評価規準を明確にした単元指導計画の作成し、学習過程の工夫をすることで授業の充実を図る。</li></ul></li><li>(3) 単元構成の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習評価を2期制にし、単元構成を工夫しながら、長いスパンでのゆとりある授業実践を行う。</li></ul></li><li>(4) 繰り返し指導の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 習熟のためのプリントや長期休業の前後にチェックテストを実施して学習内容の定着を図る。</li></ul></li></ol>
----------------	--

平成 16 年度	<p>研究のねらい 授業、特設の国語と算数の習熟の時間、課外の個別指導の時間などで、児童の意欲を喚起しつつ、評価を明確にして、基礎・基本を定着させるための指導体制、指導法のあり方を実践的に究明する。</p> <p>研究の見通し（仮説） 2学期制の実施を基に長いスパンでのゆとりある指導の中で、なお一層の理解や習熟の程度に応じた指導体制の工夫、目標を明確にした授業改善を行い、指導と評価の一体化を図ることで、確かな学力を育成することができ、学ぶ喜びを実感させることができると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 授業の充実<ul style="list-style-type: none"><li>・ 教科の特性を生かした学習過程の工夫、目標・評価の明確化、教材の開発に取り組み授業の充実を図る。</li></ul></li><li>(2) 個に応じたきめ細かな指導の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特設の習熟の時間において少人数指導、TT、コース別指導を工夫する。</li><li>・ 個別指導の時間の設定により補足的な学習や発展的な学習を行う。</li></ul></li><li>(3) 評価の工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 座席表、自己評価カード、単元の評価規準表などを工夫する。</li></ul></li><li>(4) 学んだことを定着させる工夫<ul style="list-style-type: none"><li>・ 読む活動、書く活動、計算力を高める活動を充実させる。</li></ul></li></ol>
----------------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・コース別学習において、課題設定を工夫したことにより、児童は喜びを感じ、興味や関心を持って取り組むようになった。  
(勉強の内容がよく分かる... 94%、教科が好きになった... 85%)
- ・ペア学習、グループ学習を取り入れたり、机間指導をしながら評価することを増やしたりすることにより、きめ細かな指導を行うことができた。
- ・座席表、自己評価カードなどの活用により的確な指導を行うことができた。
- ・TTを取り入れた指導を行うことにより、授業時間内につまずきに対応して指導でき、さらに一人一人にきめ細かな指導をすることができた。
- ・週1時間の習熟の時間を各学年で設置することで、効果的な少人数指導(コース別学習、課題別学習)のあり方を探ることができた。
- ・放課後の個別指導の時間を設置することで、より児童の実態に応じた指導を行い、定着が図られつつある。

## 2. 今後の課題

指導法の工夫に各学年で取り組んだ結果、次のような課題が出された。

- ・ 少人数指導においては、多様な考えが出にくい。
- ・ コース別学習では、コースの設定や指導者の打合せ、習熟に合わせた課題の準備に時間がかかる。
- ・ T Tにおいては、単元に応じた指導法の工夫と役割確認の綿密な打合せが必要である。

今年度は、理解や習熟の程度に応じた指導体制の工夫を中心に授業研究を行ってきた。今年度の研究の成果をふまえながら、次年度は次のような視点で取り組み、さらに研究を深めていきたい。

- ア 基礎・基本の定着のための指導法の工夫
- イ 個に応じたきめ細かな指導の工夫として、T Tの効果的な配置の仕方やT Tの授業でのあり方、また単元に合わせた、より効果的な少人数編成の仕方について
- ウ 評価を次の学習に生かしていく工夫
- エ 学んだことをより定着させるための工夫
- オ 補充的、発展的な教材の開発

### 学力等把握のための学校としての取組

#### \* 標準学力検査の実施

(4月) 教研式標準学力検査(NRT)の実施

- ・ 1学期、指導前の相対評価資料に利用する。

(2月) 教研式標準学力検査(CRT)の実施

- ・ 3学期、指導後の絶対評価資料に利用する。

#### \* 漢字計算全校一斉テスト(長期休業中の前後)

- ・ 長期休業中の前に実施して児童に目標を持たせ、休み明けに満点をめざして再度実施する。

#### \* 毎週の漢字計算テスト(朝の時間)

- ・ 漢字と計算を交互に実施し、学習の定着状況を把握し日々の授業に生かす。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

\* 平成16年度の教務主任研究協議会及び校長研究協議会において研究の概要を説明する。

\* 平成16年度に研究発表会を予定

日 時 平成16年10月20日(水)

場 所 八戸市立城北小学校

対 象 三八教育事務所管内小中学校教職員

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下               7～12学級  
                                  13～18学級               19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導               T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制           その他
- 【研究教科】               国語               社会               算数               理科  
                                  生活               音楽               図画工作       家庭  
                                  体育               その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有               無